

# 労働力調査のベンチマークに用いる 基準人口の切替えに関する報告

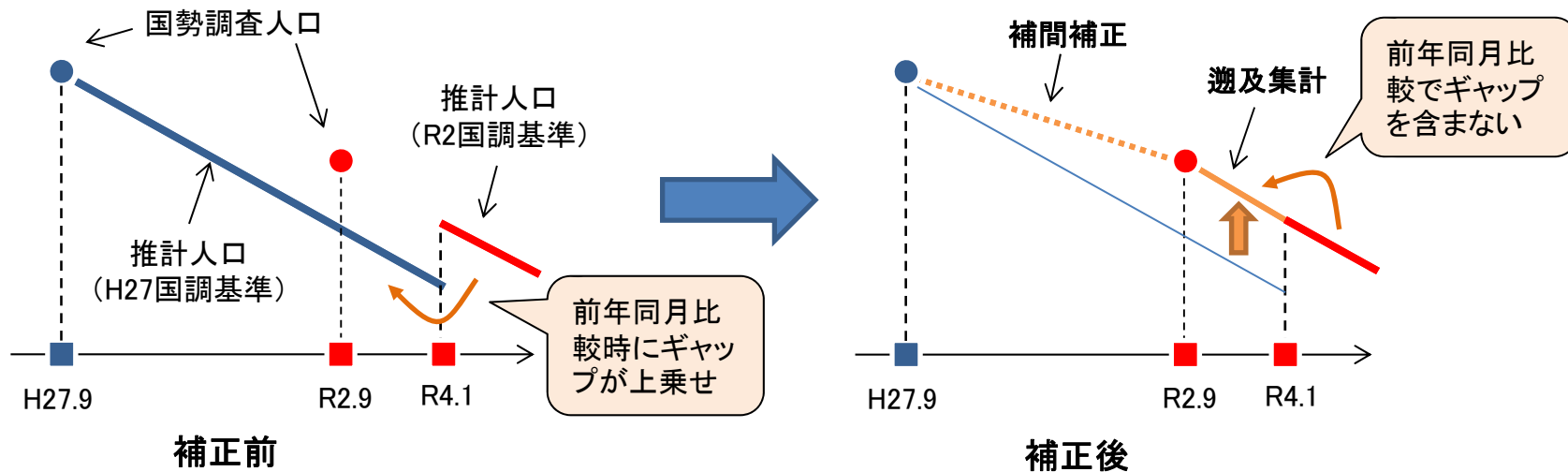
2022年4月

総務省統計局労働力人口統計室

## 基準人口切替えの概要

- 労働力調査では、各月の推計人口をベンチマークとした比推定を実施。推計人口は、国勢調査を基準として、出生・死亡・外国人の転出入等を加減して算出。
- 令和2年国勢調査の確定人口の公表後となる令和4年1月分結果から、令和2年国勢調査結果確定人口を基準とした人口推計に切替え。  
※ 基本集計は3/4に切替え済み。詳細集計は5/13に切替え予定。
- 基準人口の切替えによってギャップが生じる。前年同月比較等の際にギャップ分が上乗せされるため、**適切な時系列比較ができず、遡及集計・補間補正が必要**。  
※ 平成28年の統計委員会の横断的課題検討部会の審議結果でも、過去値の遡及改訂により新旧ベンチマークに起因する断層を解消すること、また、遡及改訂の内容（遡及改訂を見送る場合はその事由）を対外公表することが望ましいとしている。

## 遡及集計・補間補正のイメージ



## 基準人口の切替えによる影響(ギャップ)

(単位: 万人, ポイント)

| 国勢調査        | 15歳以上人口 | 就業者数 | 完全失業者数 | 非労働力人口 | 完全失業率 |
|-------------|---------|------|--------|--------|-------|
| 昭和50年(遡及改定) | +56     | +45  | +1     | +10    | 0.0   |
| 昭和55年       | -4      | -3   | 0      | -1     | 0.0   |
| 昭和60年       | +7      | +4   | 0      | +3     | 0.0   |
| 平成2年        | -11     | -7   | 0      | -4     | 0.0   |
| 平成7年        | +28     | +17  | +1     | +10    | 0.0   |
| 平成12年       | -6      | -4   | 0      | -2     | 0.0   |
| 平成17年       | +6      | -6   | -1     | +13    | 0.0   |
| 平成22年(遡及改定) | +69     | +44  | +1     | +24    | 0.0   |
| 平成27年(遡及改定) | +35     | +27  | 0      | +7     | 0.0   |
| 令和2年(遡及改定)  | +26     | +33  | +1     | -8     | 0.0   |

## 遡及集計の方法

対象：令和2年9月分～3年12月分

- 令和2年国勢調査の確定人口を基準人口として、新たなベンチマーク人口を算出
- 個別データに、新たなベンチマーク人口に基づく集計用乗率を付与
- 新たな集計用乗率を用いて、**再集計を実施**

### 【年平均値の取扱い】

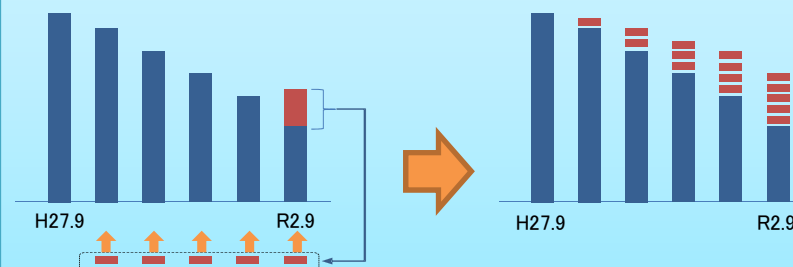
遡及集計・補間補正の実施に伴い、以下のとおり算出：

R3年平均 … 遡及集計の値で算出  
 R2年平均 … 1～8月分は補間補正值、  
 9～12月分は遡及集計の値で算出

## 補間補正の方法

対象：平成27年10月分～令和2年8月分

- 令和2年9月の遡及集計値と既公表値（H27国調基準）のギャップを算出
- ギャップを国勢調査間（5年間）の各月の**既公表値の数値に均等配分**



基準人口の切替えによる影響(ギャップ)  
－2020年9月分結果における比較－

(単位:万人)

|            | 新基準   | 旧基準   | 新旧差 |
|------------|-------|-------|-----|
| 15歳以上人口    | 11111 | 11085 | +26 |
| うち15～64歳人口 | 7509  | 7466  | +43 |
| うち65歳以上人口  | 3603  | 3619  | ▲16 |
| 労働力人口      | 6933  | 6899  | +34 |
| 就業者        | 6722  | 6689  | +33 |
| 完全失業者      | 211   | 210   | +1  |
| 非労働力人口     | 4171  | 4179  | ▲8  |

※数値はいずれも基本集計の値